

## 五百羅漢の維持管理等について



中右 憲利 議員  
(21 政会)

**問** 羅漢寺と五百羅漢は基本的に別物とのことだが、五百羅漢はどこが所有し、どのような維持管理体制となっているのか。

**答** 市は、五百羅漢保存委員会と連携し維持保存活動をしています。五百羅漢の所有を特定するのではなく、北条町民有志から市民に受け継がれた財産であるという理念のもと、五百羅漢保存委員会が維持管理をしています。

**問** 現在、五百羅漢保存委員会が主体となり維持管理、イ

ベント等行い、日常的な管理業務は、羅漢寺の住職さんをお願いしているが、住職さんもご高齢であり、五百羅漢保存委員会も維持管理の主体として活動することが難しくなっている。市や地域全体が主体の維持管理体制を考えるべきではないか。

**答** 毎月一回、市が事務局となり五百羅漢保存委員会を開催し、イベント企画運営や石仏の保存修理等協議しています。今後の維持管理体制もこの会議の中で話し合うことが最善と考えます。

**問** 拝観料収入が急激に落ち込んでいるが、拝観者数の増加等、今後の活性化策について。

**答** ビジネスホテルから徒歩で市街地を周遊できるよう観光まちづくり協会が「加西北条ぶらぶらマップ」を作成し、旧北条

市街地から五百羅漢を回る散策コースを推奨しています。また、いこいの村はりまと連携し、五百羅漢ライトアップ時には宿泊客をバスで送迎していただいています。外国人観光客の対応は、平成30年11月から市内在住の外国人の方に観光アンバサダーとして、観光名所やイベント情報をSNS等で発信していただいています。

**問** 五百羅漢の案内看板等について。

**答** 現在、五百羅漢保存委員会で作成中の大きな羅漢さん3体を、北条ならの実こども園北側の歩道に設置し目印にできるよう、道路管理者と協議しています。

### ■その他の質問項目

- ・北条高校の活性化について
- ・加西市の福祉施策について

## 西村市政の2期目4年間と今後について



森元 清蔵 議員  
(21 政会)

**問** 4年間の市政取り組みと成果への思い、今後の加西市の課題解消に向けて、次期市長選の出馬の意向は。

**答** (市長) 5月の市長選挙に3選を目指して立候補することを決意いたしました。2期8年間の市政を皆様とともにしっかり総括し、新たな4年間に向かって挑戦していきたいという考えに至りました。

1期目の私の任は、対話と協調により地域の人々の思いが伝わ

る、市民のための市政を行うことでした。行政体としての加西市と市内の団体、個人とのきずなを丁寧に修復し、国や県行政との関係性の改善に努めました。

2期目は、新たな事業へのチャレンジでしたが一定推進できたことは、支援協力していただける個人や各種団体との関係性の構築が大きかったと思っています。平成27年度実施の播磨国風土記1300年祭と平成28年10月に制定した「気球の飛ぶまち加西条例」は、加西市の知名度を上げる大切な事業です。平成29年度には全地区で、ふるさと創造会議が設立されました。持続可能なまちづくりの推進には、まず住民主体の地域力が必要であり、地域の課題を地域で共有し、解決していく仕組みをつくることができました。

取り組みの成果として、1つ目にふるさと納税です。開始の平成

20年度と比較し、平成29年度は件数で388倍、金額で109倍の6億3,000万円です。収入の増加だけではなく、返礼品が地場産業の活性化を生み出しています。2つ目は、人口統計で平成10年度以降、毎年200人以上の社会減であったものが、平成28年度は93人の減、平成29年度は21人の減、平成30年度は11月末時点で161人の増となっています。3つ目は、住みよさランキングで平成22年、全国市区中558位でしたが、平成30年は、120位(814の市区中)です。

現在進めている3つの事業、インター周辺の産業団地の創出、鶉野飛行場跡地周辺の整備、旧市街地の活性化については、加西市の将来を左右する重要な課題です。これらの進捗が誰の目にも見えるように、引き続き市政を担えるよう挑戦したいと思っています。